

会社説明会資料

2011年11月15日

株式会社 **JCL バイオアッセイ**

証券コード:2190 売買単位:100株



Section 1

JCLバイオアッセイについて



JCLの概要

経営ビジョン

分析CROとして世界の頂点を目指す

会社概要

会社名	株式会社JCLバイオアッセイ
資本金	256,356,000円
決算日	3月31日
事業内容	医薬品開発受託試験研究業務
従業員数	141名（連結171名）
連結子会社	JCL Bioassay USA, Inc.

研究所



西脇ラボ(兵庫県西脇市)



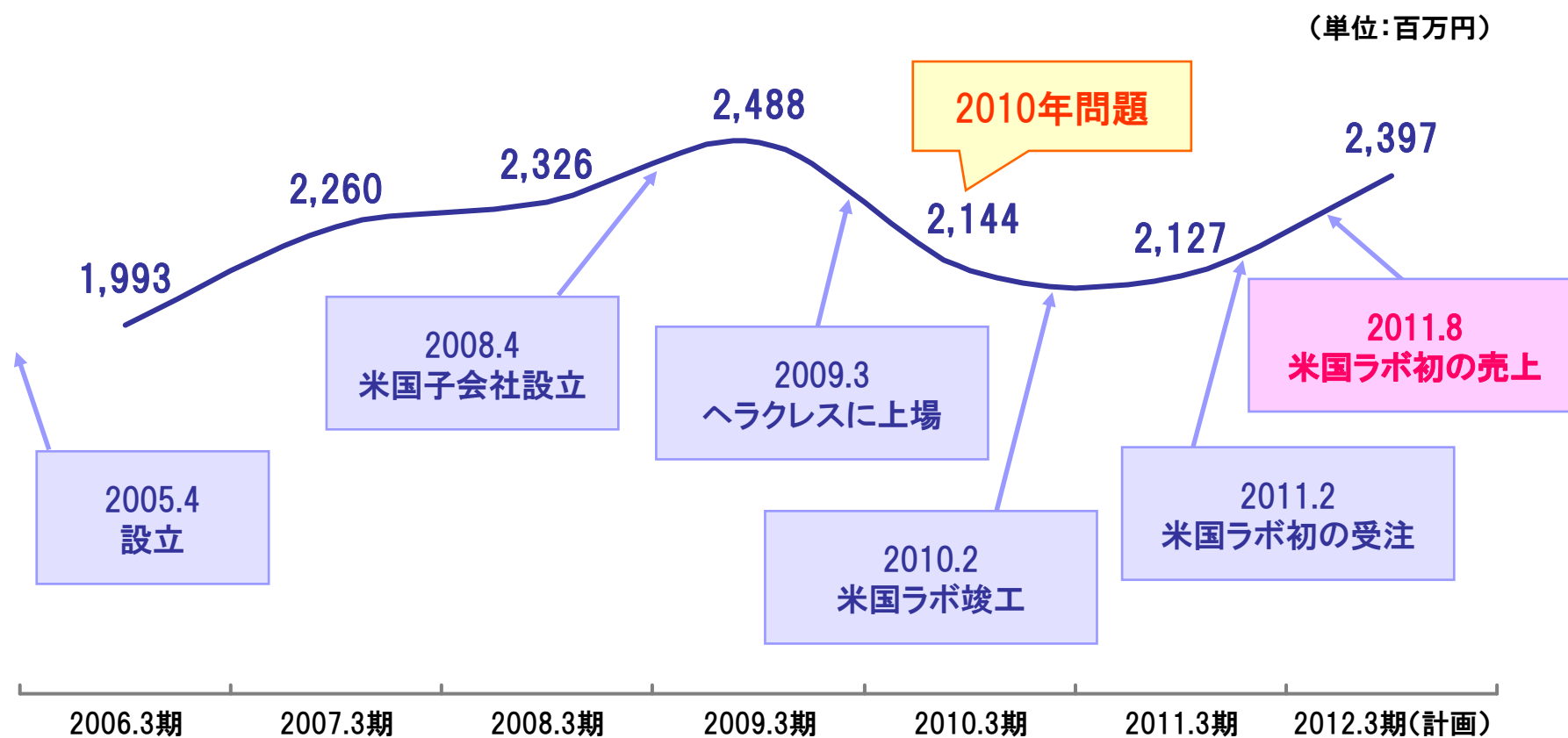
大阪ラボ(大阪府吹田市)



米国ラボ(米国イリノイ州)



当社グループの歩みと売上高の推移



(注)2006.3期は単体売上高



CR0の分類と事業内容

医薬品開発業務受託機関 = CR0(Contract Research Organization)

➤ 主に製薬会社から、非臨床試験・臨床試験に関する業務を受託する企業

JCL バイオアッセイ

分析CR0

バイオアナリシス

医薬品品質安定性試験

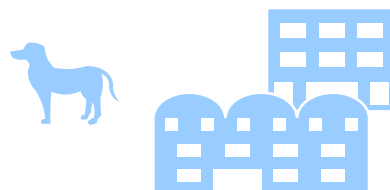


研究施設

非臨床試験・臨床試験・市販後調査で
薬物濃度測定など分析業務
を実施

生物系CR0

安全性(毒性)試験



研究施設

非臨床試験で
動物での安全性試験
を実施

臨床CR0

モニタリング

コンサルティング

データマネジメント



治験者



病院

臨床試験・市販後調査で
治験の計画・実施
を支援

JCLバイオアッセイは

高度な分析技術で製薬会社を支援する分析CR0として
医薬品の開発に大きく貢献しています



上場CRO比較

※ 数値は決算短信より (注)時価総額は2011.9.30の終値より算出

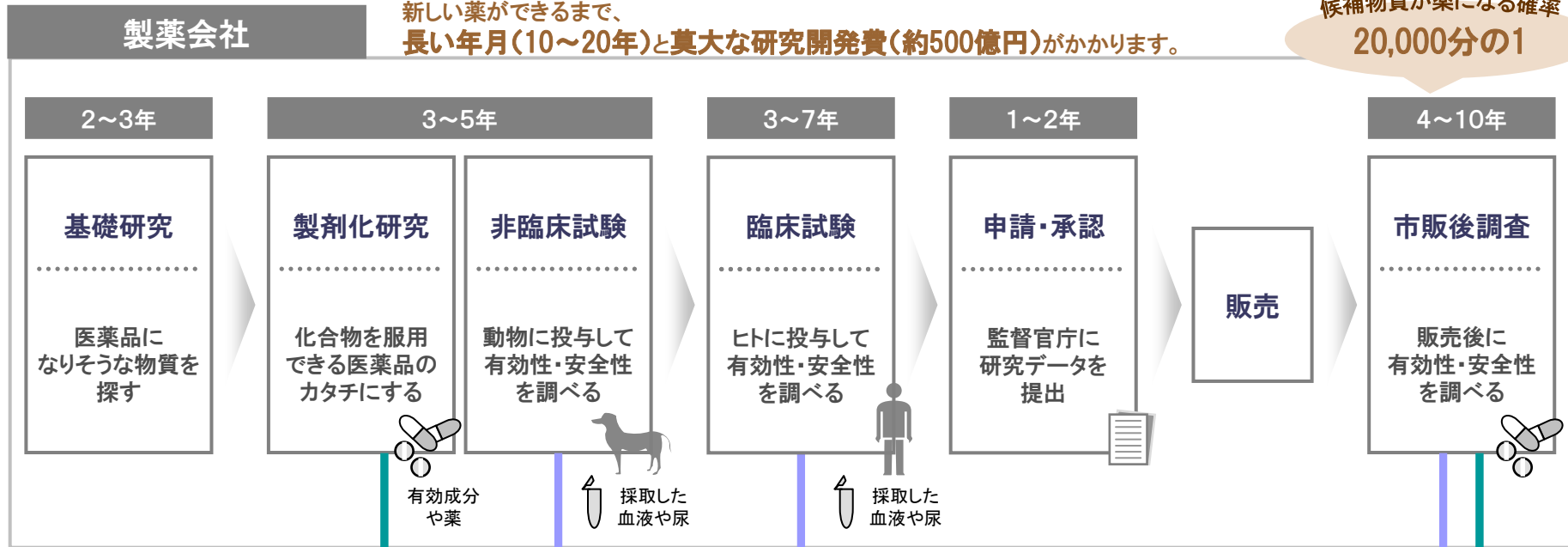
分析CRO	市場	売上高(百万円)	決算期	時価総額(百万円)
JCLバイオアッセイ	ジャスダック	2,127	2011.3/連	988
生物系CRO	市場	売上高(百万円)	決算期	時価総額(百万円)
新日本科学	東証1部	17,371	2011.3/連	7,967
イナリサーチ	ジャスダック	3,937	2011.3/連	1,022
臨床CRO	市場	売上高(百万円)	決算期	時価総額(百万円)
シミック	東証1部	43,555	2011.9/連	25,291
イーピーエス	東証1部	32,040	2011.9/連	32,092
メディサイエンスプランング	ジャスダック	7,125	2011.8/連	2,143
MICメディカル	ジャスダック	2,885	2011.9/単	1,052
リニカル	東証マザーズ	2,512	2011.3/連	3,228



新薬開発と当社の事業領域

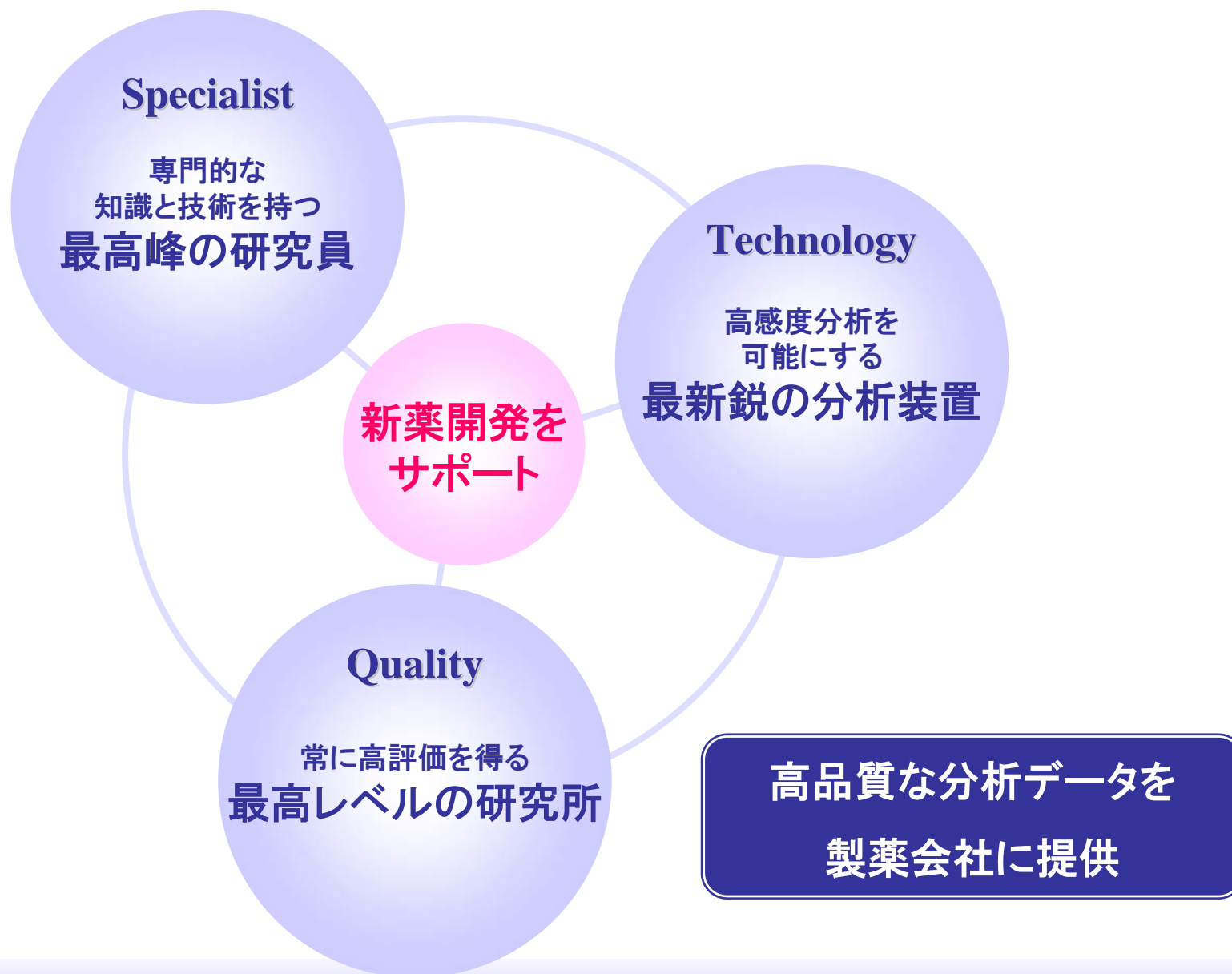
新しい薬ができるまで、
長い年月(10~20年)と莫大な研究開発費(約500億円)がかかります。

候補物質が薬になる確率
20,000分の1





当社グループの強み①





当社グループの強み②

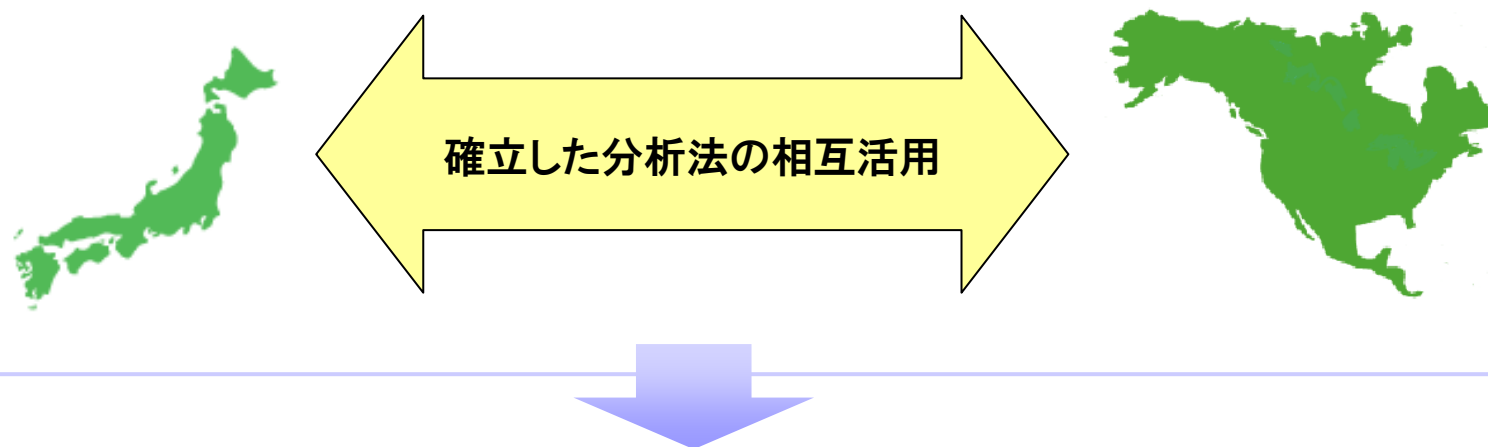
JCLバイオアッセイは

日米に研究所を有する唯一の分析CRO

【新薬の申請】

多くの製薬会社は、日米両国で新薬の承認申請を行う。

【日米研究所の連携によるメリット】



グループシナジーを活かし、新薬開発の効率化に貢献



Section 2 2012年3月期 第2四半期実績





2012年3月期第2四半期のポイント

1

2011年8月、米国ラボ 設立後初の売上計上

2

【連結】 売上・利益ともに当初計画達成

3

2011年7月、抗体医薬 測定サービス開始



売上高



Point

米国ラボ設立後初の売上計上

【連結・単体】減収となったものの、当初計画を達成

(単位:百万円)

売上高		2012年3月期第2四半期		2011年3月期第2四半期		前年同期比
		金額	構成比	金額	構成比	
国内	バイオアナリシス	751	80.9%	849	84.8%	88.4%
	医薬品品質安定性試験	171	18.5%	152	15.2%	112.9%
単体・合計		923	99.4%	1,001	100.0%	92.1%
米国	バイオアナリシス	5	0.6%	-	-	-
連結・合計		928	100.0%	1,001	100.0%	92.6%



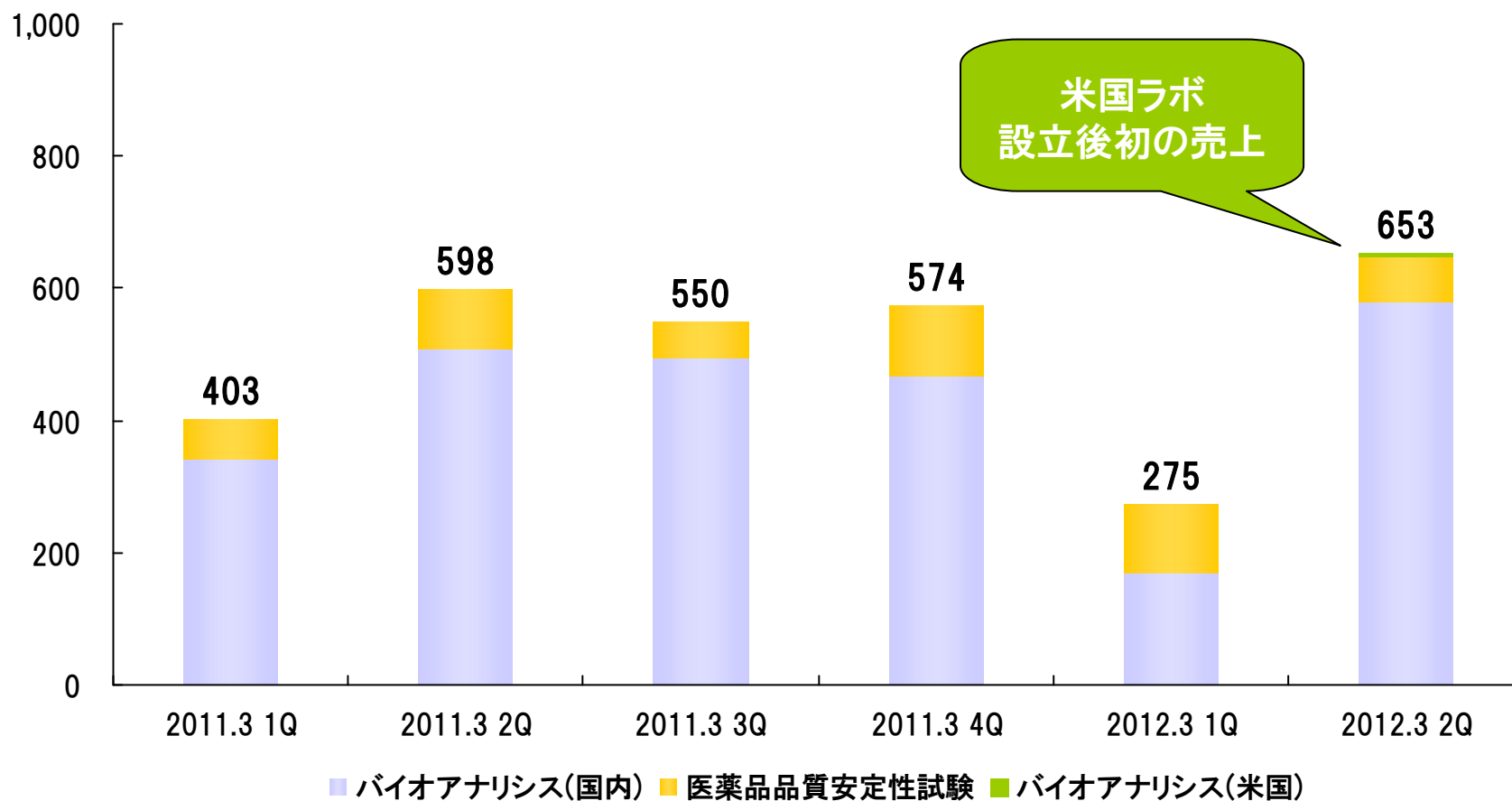
売上高の推移



Point

受注から売上計上までに平均約半年を要する
完成基準を採用しているため、3ヶ月ごとの売上に凸凹が生じる

(単位:百万円)





損益計算書(当初計画比)



Point

【連結】売上・利益ともに当初計画達成

【単体】売上は当初計画達成、利益は当初計画未達

→中止・規模縮小試験が想定以上に多かったため稼働率が低下

(単位:百万円)

	2012年3月期第2四半期		当初計画		当初計画比
	金額	構成比	金額	構成比	
連結					
売上高	928	100.0%	920	100.0%	100.9%
売上総利益	151	16.4%	97	10.6%	156.0%
営業利益	▲159	-17.2%	▲274	-29.8%	-
経常利益	▲247	-26.7%	▲292	-31.7%	-
四半期純利益	▲235	-25.4%	▲302	-32.8%	-
単体					
売上高	923	100.0%	913	100.0%	101.1%
売上総利益	218	23.6%	313	34.4%	69.5%
営業利益	▲29	-3.2%	35	3.8%	-
経常利益	▲36	-3.9%	27	3.0%	-
四半期純利益	▲24	-2.6%	17	1.9%	-



損益計算書(前年同期比)



Point

【連結・単体】ともに減収減益

終了試験が少なかった(完成基準)こと、及び米国ラボへの先行投資による

(単位:百万円)

	2012年3月期第2四半期		2011年3月期第2四半期		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
連結					
売上高	928	100.0%	1,001	100.0%	92.6%
売上総利益	151	16.4%	347	34.6%	43.8%
営業利益	▲159	-17.2%	110	11.0%	-
経常利益	▲247	-26.7%	▲93	-9.4%	-
四半期純利益	▲235	-25.4%	▲143	-14.3%	-
単体					
売上高	923	100.0%	1,001	100.0%	92.1%
売上総利益	218	23.6%	347	34.6%	62.8%
営業利益	▲29	-3.2%	110	11.0%	-
経常利益	▲36	-3.9%	101	10.1%	-
四半期純利益	▲24	-2.6%	51	5.2%	-



連結貸借対照表



Point

米国ラボへの先行投資を計画通りに実施

(単位:百万円)

	2011年9月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
資産	3,890	3,866	+23	+0.6%	
流動資産	1,544	1,569	-24	-1.6%	現預金の減少 201百万円 売掛金の増加 85百万円
固定資産	2,338	2,289	+49	+2.1%	前払費用の増加 41百万円 工具器具備品の増加 103百万円
繰延資産	7	7	-0	-8.8%	
負債	3,159	2,862	+297	+10.4%	
流動負債	1,438	1,308	+129	+9.9%	長期借入金の増加 232百万円 前受金の増加 126百万円
固定負債	1,721	1,553	+167	+10.8%	
純資産	730	1,004	-273	-27.3%	利益剰余金の減少 251百万円
1株当たり純資産	220.95円	303.74円	-82.79円	-27.3%	
自己資本比率	18.8%	26.0%	-	-	



連結キャッシュ・フロー計算書



Point

米国ラボへの先行投資を計画通りに実施

(単位:百万円)

	2012年3月期 〔2011年4月1日から 2011年9月30日まで〕	2011年3月期 〔2010年4月1日から 2010年9月30日まで〕	増減額	主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	▲130	112	-243	税金等調整前四半期純損失の増加 144百万円 売上債権の増加 146百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲221	▲330	+109	有形・無形固定資産の取得による支出の減少 135百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	162	▲126	+288	長期借入れによる収入の増加 300百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲12	▲24	+12	
現金及び現金同等物 の増減額(▲は減少)	▲201	▲368	+166	
現金及び現金同等物 の期首残高	847	1,362	-515	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	645	993	-348	



有利子負債の状況



Point

米国ラボへの先行投資に向けた長期借入金の増加

(単位:百万円)

	2011年9月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
有利子負債 (短期)	924	867	+56	+6.5%	一年内償還予定の社債の増加 50百万円 (社債から振替)
有利子負債 (長期)	1,542	1,389	+152	+11.0%	社債の減少 50百万円 (一年内償還予定の社債へ振替) 長期借入金の増加 232百万円
有利子負債 合計	2,467	2,257	+209	+9.3%	



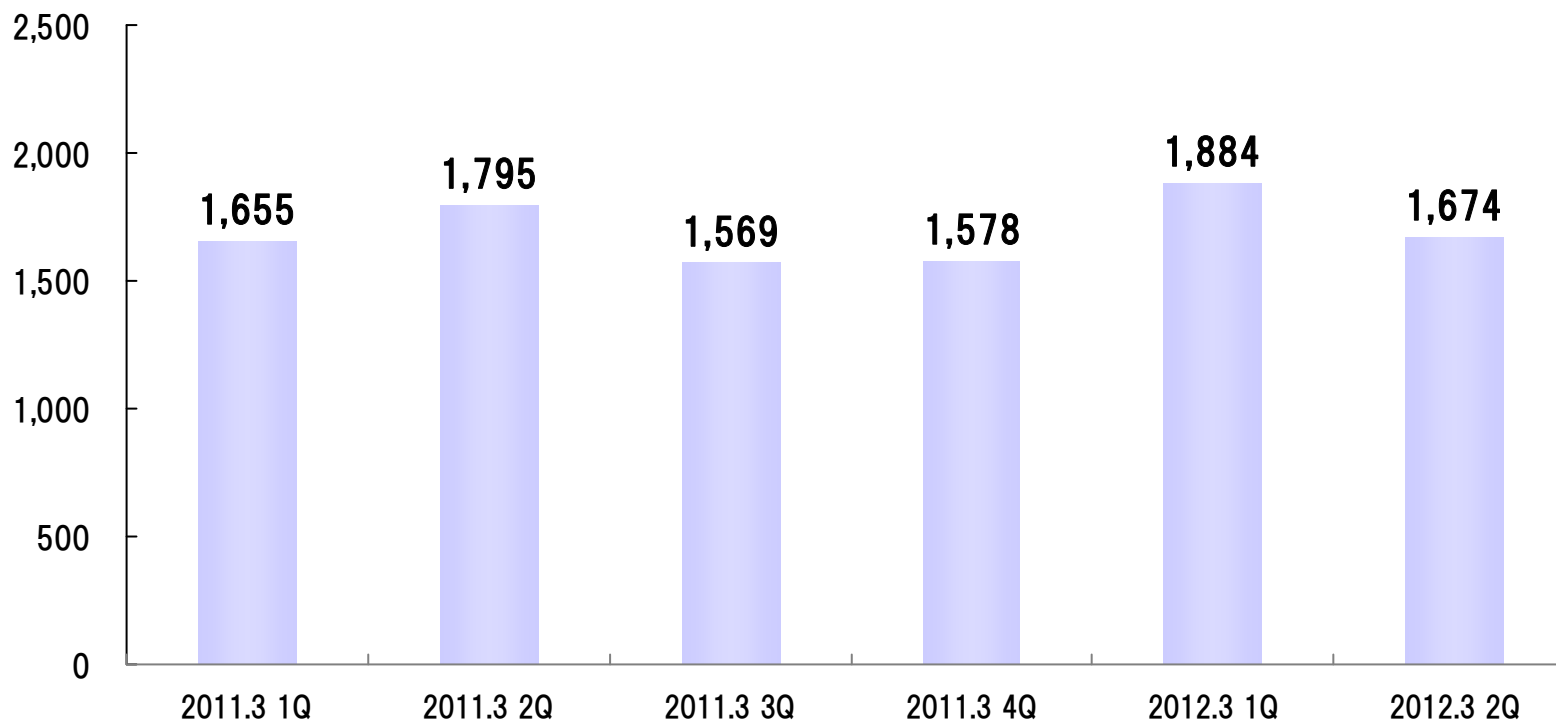
受注残の推移（国内）



Point

受注残は堅調に推移

（単位：百万円）



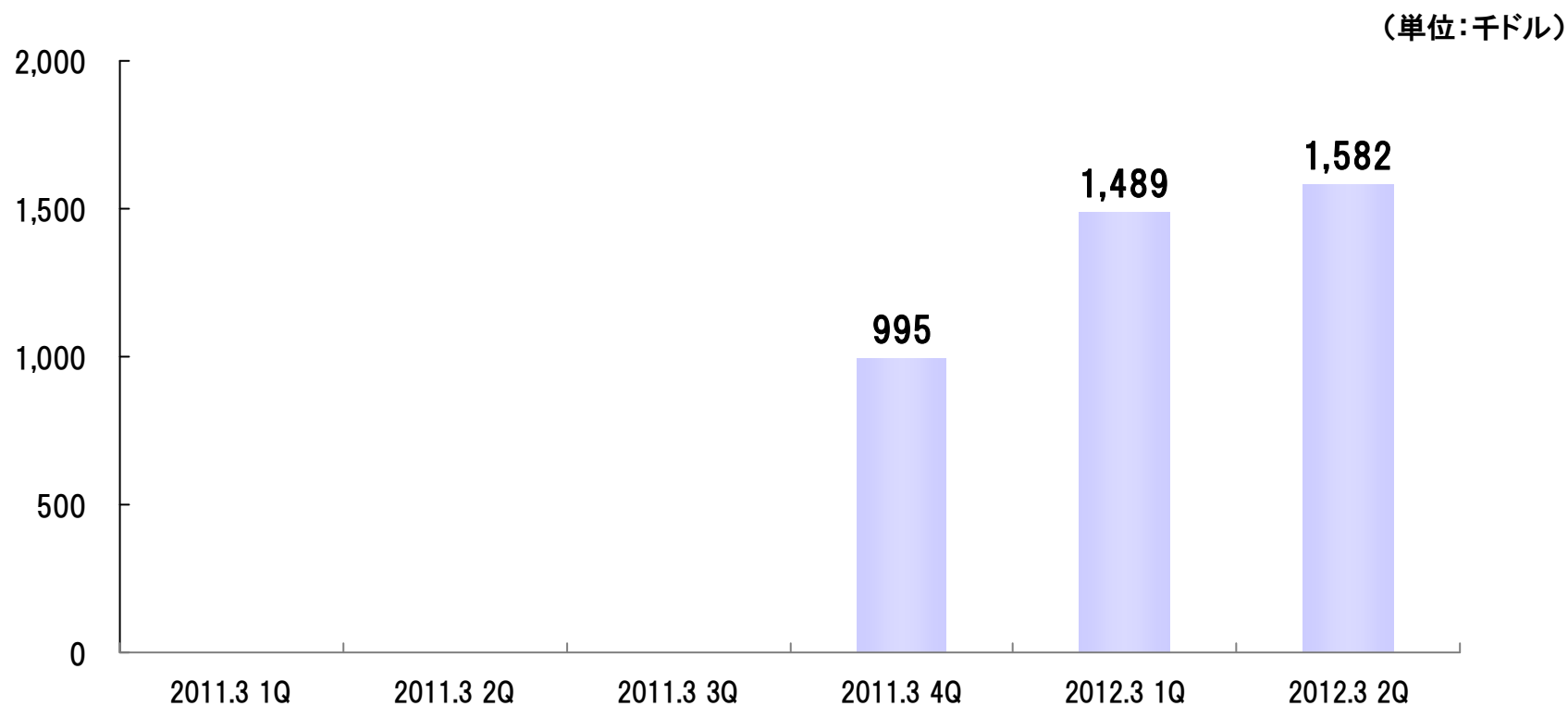


受注残の推移（米国）



Point

2011年2月の初受注獲得以後、拡大傾向





Section 3 JCL Bioassay USA, Inc.の状況





概要



社名	JCL Bioassay USA, Inc.
住所	2860 Forbs Avenue, Hoffman Estates, IL 60192-3702, USA
面積	敷地:20,436㎡ 建物:2,059㎡
従業員数	30名 (2011年9月末現在)

米国市場の可能性

- 市場規模は日本の約10倍
- CROへのアウトソーシングが盛ん





米国ラボの強み

米国ラボの強み

1

立地の優位性

- ・ 日系大手製薬会社が進出
- ・ オヘア国際空港から近い

2

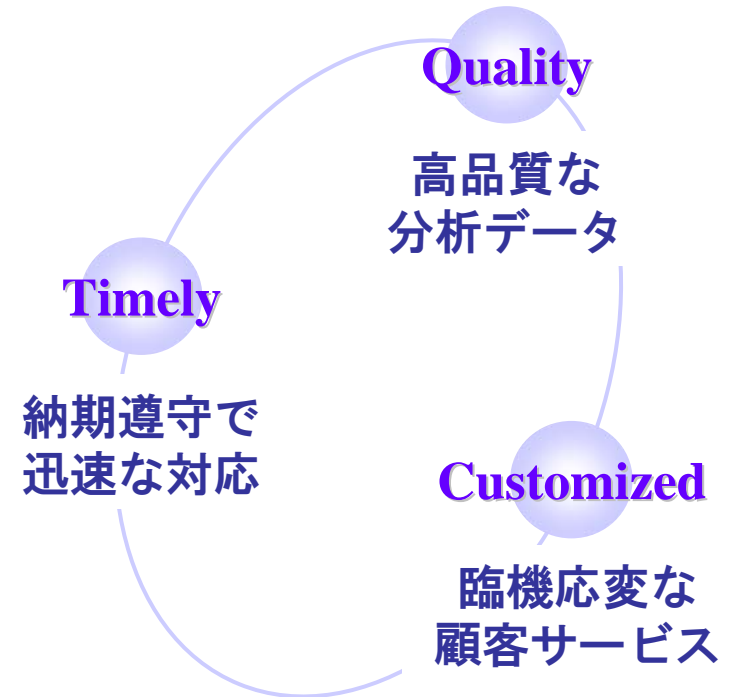
熟練した研究員

- ・ 日本のノウハウを伝承
- ・ 個別の教育プログラム

3

最先端の研究所

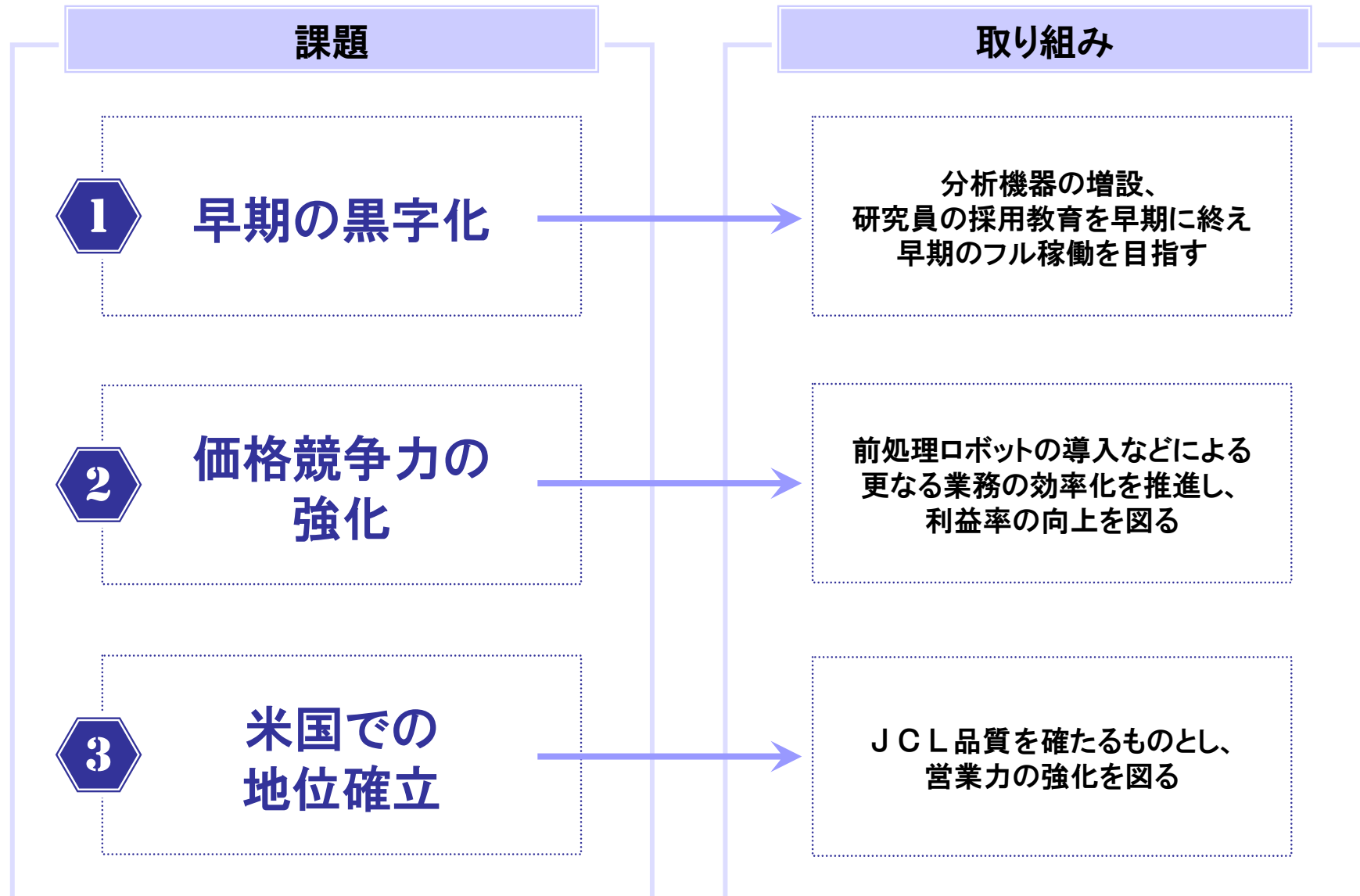
- ・ 最新鋭の分析装置を保有
- ・ 高感度分析が可能



高評価を頂いているJCLの品質を
米国の製薬会社へも提供していきます



米国ラボの課題と取り組み

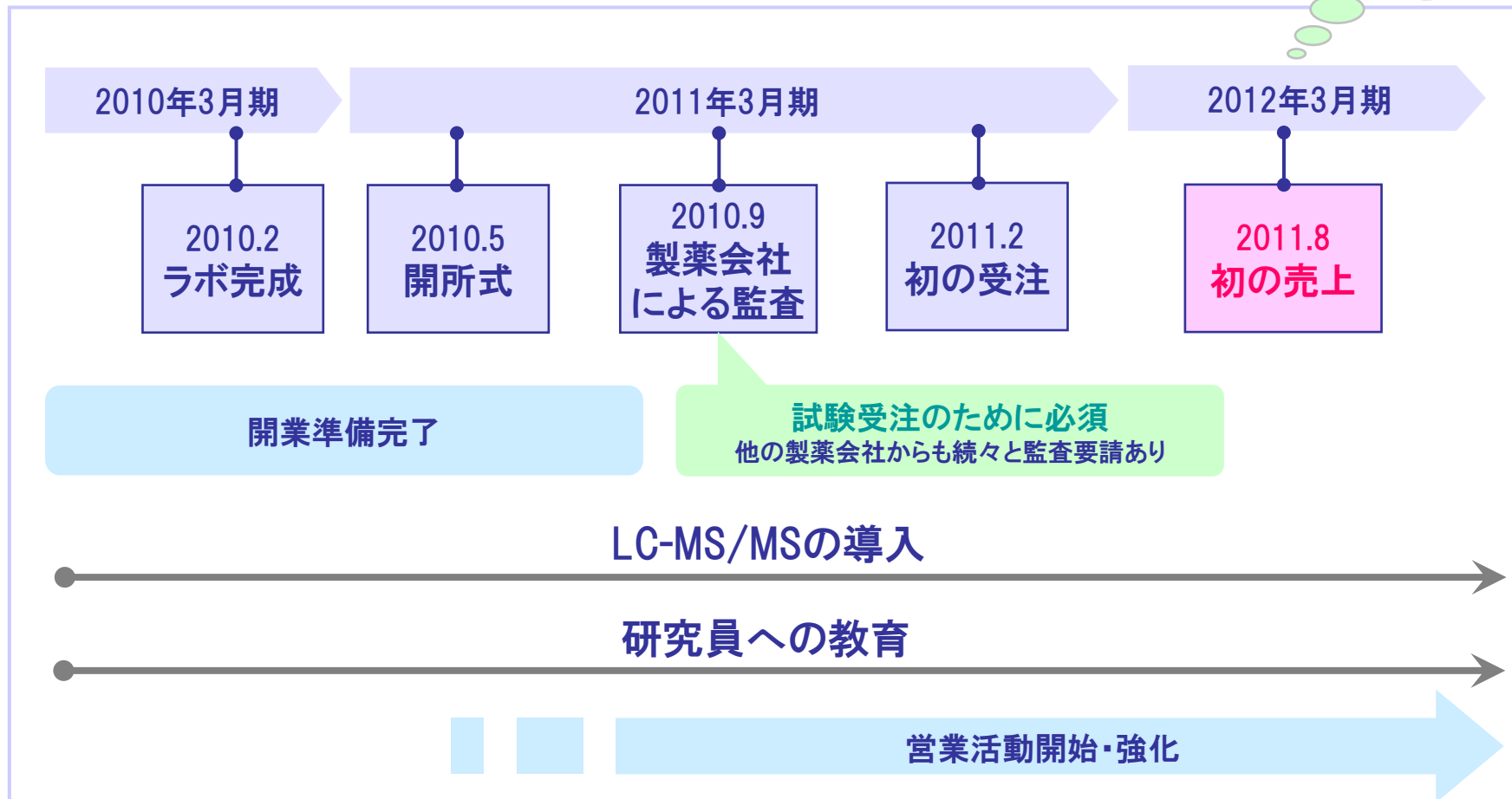




2012年3月期の進捗報告

2011年8月 米国ラボ初の売上を計上

9月現在、
複数の製薬会社
から受注獲得



Section 4 今後の戦略



受注拡大戦略

① グループシナジーを活かした営業活動を展開

唯一
日米両方に研究所をもつCRO



日米連携による研究開発支援の
効率化・スピードアップ

② 営業力の強化による販路拡大

2011年6月、横浜オフィスを開設



営業活動の範囲拡大
関西中心から全国へ

③ 新試験項目の受託へ向けた取り組みを開始

製薬会社の新薬開発動向

低分子医薬品に続き、バイオ医薬品を含む高分子医薬品に注目



新試験項目(抗体医薬品・核酸医薬品)の受託に向けた取り組み



新試験項目の受託へ向けた取り組み②

抗体医薬品

2011年7月 測定サービス開始



最新機器(ECL・ELISA)導入により
高感度化・測定レンジ拡大



核酸医薬品

当社の得意分野であるLC-MS/MSを用いた分析技術開発に取り組む

【定量分析】 2011年6月 学会発表 ～大きな反響を呼ぶ～

6/6 デンバー（米国） 59th ASMS Conference

6/17 京都 16th Annual Meeting of the RNA Society

【定性分析】 2011年4月 特許出願

特願2011-83205 オリゴヌクレオチドの配列決定法

2011年8・9月 学会発表

8/31 大阪

第7回分子複合医薬研究会

9/13 大阪

第59回質量分析総合討論会



科学は公共の利益に
寄与するものでなければならない



本資料に関するお問い合わせ先



株式会社 **JCL バイオアッセイ**

経営企画室

TEL:06-4863-5020

FAX:06-4863-5021

ホームページ:<http://www.jclbio.com>

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。